

令和5（2023）年度

児童館事業年間活動報告書

（京都市桂徳）児童館

活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
(4) 卓球クラブ	45	1	86	223	45	132		1			28	516	地域の才田さんにお越しいただき、卓球の技術・ルール・マナーを学ぶ。	日頃の卓球クラブの練習では、講師の才田さんより打ち返し練習、サーブ練習、試合など子どもたちがやりたい練習を積極的に取り入れてくださる。西京ブロック交流卓球大会では、低学年準優勝、高学年第3位という優秀な結果を残すことができた。課題としては、子どもたちの練習に対するやる気の差が少しみられ、練習態度があまりよくないと感じられ注意する場面もあった。
(4) 将棋クラブ	12		28	107	3	16					11	165	将棋連盟京都支部より地域の中村先生・水野先生にお越しいただき、将棋のルールやマナーを身につける。初めての子ども駒の名前から動き方、将棋の指し方を学ぶ。また詰将棋などの実践、クラブ内大会など実力を計る場を設ける。	低学年の入部多く年度途中から辞めていく児童や、一年間参加するクラブであることが伝わっていなかったのかすぐに参加しなくなる児童がいた。始めに念押ししておく必要がある。最後まで継続できた児童の中には、初心者だったが初めて勝てたと嬉しそうにする姿や、勝ち負けにこだわらず対局を何度もくり返す根強さが見られた。三月の取り組みについて担当の先生によって変わるため、こちらで部内大会をする、など決定しておく。
(4) 写真部	12	2	26	19	13	15		1			2	76	毎月テーマを設定し、写真を撮影する。個人のアルバムを制作する。写真展を開催し地域の方に写真部の活動を見ていただく。児童健全育成推進財団「じどうかん」冊子の表紙撮影。	参加者のモチベーションは様々ではあったが冊子の表紙に選ばれることを目標にしている子や、様々な場所に出かけて写真を撮ることを楽しみにしている子がいた。また自分だけのアルバムを作ることも楽しんでる。アルバムについては完成までの見通しが甘かったことで年度末に急いで完成させる形となる。アルバム作りそのものは参加者も楽しんでいる様子。今後継続するにあたって取り組み方を検討する。
(2) あやのとみさとのおりがみ教室	13		68	122	3	33		5				231	4年生、5年生のみさとちゃん、あやのちゃんが先生となり、おりがみ教室を行う。	自由来館のコンスタントな参加、常に参加してくれる児童の存在があり先生をする児童2名のやる気につながっていると感じる。また他館からのリクエストによる教室の開催は先生役の児童にとって自信につながる貴重な機会となった。参加者については毎回複数制作したり違う色でも折ってみたいと熱心に取り組んでいた。次年度も引き続き、みさとちゃん、あやのちゃんが先生役を務めるため参加者が楽しめる内容を相談・検討していく。
(3) おりがみ作品展	1	4	3	4	2		1	11				25	児童が自由に作成したおりがみ作品を、児童館の2階を使って展示。保護者や地域の方に見に来ていただく。	3回目の開催を楽しみにしているという声を受け開催したが作品を飾りたいという児童の参加がやや少なく当日来場者の少なさにつながった。家族全員で見に来てくださったり、以前我が子が出展していたからと見に来てくださる保護者の方もあり、日々努力して完成させた作品を様々な人に見ただけは出展者にとっては貴重な機会になっている。作品募集期間の延長や広報に力を入れるなど改善が必要。
(2) #はらっこ絵本時間	9		4	157								161	地域の原さんにお越しいただき絵本の読み聞かせを開催する。	主に1年生を対象として行った。参加者は少なめだが大きな紙芝居や流行りの絵本など児童館の図書室にはない本を読み聞かせしていただけるため毎回楽しみにしている児童がいた。子どもたちからのリクエストも拾っていただき心待ちにしている子もいる、2年生以上の子も参加できるよう時間設定について検討する。

子ども育成機

基	(2) ダンス教室	12		104	21		1					126	REMI先生に講師をしていただきダンスの指導を行う。楽しみながらダンスを覚えられるよう取り組む。初心者でも覚えやすいような簡単な振り付けをメインで行っている。	振り付けは簡単なもの、曲は流行りのものを取り入れ行う。歌いながら楽しく踊っている様子が見られるが徐々に参加するメンバーが固定され簡単な振り付けに馴れてもっと難易度をあげたものもいいと声があり、子どもたちのリクエストを受け満足した様子であった。子どもたちの中には教える側をしたいとあり、その際にはサポートの方に戻るなど子どもの主体的な声を大切に取り組むことができた。	
本	(2) 工作教室	10		28	126		18		3		1	176	制作後に遊んで楽しめるものや、飾れるものなど実施時間内に作成できるものを提供する。材料によっては参加費を徴収して行う。	昨年度から人気のある取組のため、簡単に作れて遊べるものを多く取り入れ、できるだけ参加者を多く受け入れられるようにした。また地域の方にもお手伝いいただき、季節の飾りを制作する。子どもたちはそれぞれ楽しんで意欲的に参加していた。引き続きより多くの子どもたちが参加できるよう取り組んでいきたい。	
育	(3) JUMP-JAM	1	1	10	12	5	1			9		2	39	児童健全育成推進財団JUMP-JAMのプログラムを活用し、桂徳小学校体育館に実施する。	運動が得意な子ども苦手な子ども楽しめる運動あそびプログラムのJUMP-JAMを実施。乳幼児親子～小学生親子が来場し、世代を超えたふれあいの機会となった。イベント形式だけでなく、日々のあそびにプログラムを取り入れて、子どものあそびの幅を増やしていきたい。
成	(3) MKボウルお出かけ企画	1		5	30	2	13						50	北区にあるMKボウル上賀茂に引率。チーム別でボウリングを行った。	ボウリングが初めての子に対し、経験のある子が教えてくれる様子がみられ、特にトラブル・ケンカなく楽しそうにボウリングを楽しむ姿がみられた。当日、思ったより時間がかかってしまい、バス会社の方に急遽時間変更をご迷惑をおかけしてしまったため、もう少し余裕をもったスケジュール計画が必要であった。
機	(3) マンガミュージアムお出かけ	1		2	12		6						20	中京区にあるマンガミュージアムにお出かけに行く	子どもからのリクエストによりマンガミュージアムへのお出かけを企画する。昼食スペース等の確保から、参加人数は少なくしたが、申し込み多数で初日に定員いっぱいとなる。お出かけ企画は子どもたちも保護者も楽しみにしているため、次年度も子どもの意見を取り入れながらお出かけ先を検討していきたい。
能	(5) Tシャツプリント見学会	1	2	3	16	2	6			2			31	地域のBEST PLAYさんの企画に参加。子ども自身が描いた絵をTシャツに印刷していただき、またその様子を工場へ行き見学させていただいた。	昨年度に引き続き、地域のBEST PLAYさんの企画に参加する。小学生だけでなく乳幼児親子の参加もあり、自分のオリジナルのTシャツができることに喜んでいた。今後も地域企業と交流する機会を設けていきたい。
	(3) 電車であそぼう！	1	16	11	11	2	2			23	1	6	72	鉄道模型であそぼう会の方に来ていただき、Nゲージ体験やプラレールあそびを行う。	たくさんの乳幼児親子、小学生の参加があり、電車好きの子どもたちの楽しい時間となった。Nゲージの組み立ての準備から子どもたちが関わり、電車好きでない子どもも楽しんで参加していた。Nゲージをさわって壊さないかと心配される乳幼児親子もおり、プラレールで遊ぶ姿が見られた。今後も行ってほしいとの利用者の声もあるため、次年度も内容を変えて実施していきたい。
	(3) ミュージックケア小学生	1		4	15			2				2	23	午前中に乳幼児向けに地域の森田さんが開催してくださっているミュージックケアを小学生向けに開催した。	夏休み中に小学生向けにミュージックケアを実施。放課後等デイサービス38JET'Sの子どもたちも参加し、障害のある子どもとの交流の機会となった。児童館だより掲載の実施時間が間違っており、参加者から苦情があった。日程・時間の調整時にはしっかりと確認しておく必要がある。

(2) オセロ取組	19		6	169		20					195	オセロ取り組み期間内に多くの対戦を行い、館内大会、ブロック交流大会に挑戦する。	1か月間の取組を通して、オセロの遊び方やルールなどを伝えていく。取組の参加者は多かったが、館内大会に参加する子どもが少なく、子どもたちに自信をもって取り組めるよう声掛けが必要だと感じる。
(2) 館内オセロ大会	1		15	3	5						23		
(2) ブロックオセロ大会	1		4								4		
(2) マンカラ取組	23		1	343	1	47					392	マンカラ大会に向けて取り組み、対戦を重ねて館内大会、ブロック交流大会に挑戦する。	取組自体には参加者が多く、成果がわかる掲示は昨年引き続き興味を持ち意欲的に取り組んでいた。大会参加者の人数について、習い事等あるため難しいが大会に参加してみたいと思える働きかけを考えていく。
(2) 館内マンカラ大会	1		12	5	1	1					19		
(2) ブロックマンカラ大会	1		3			1					4		
(2) 卓球取組	4		4	36		3					43	卓球取り組み期間中に対戦を重ね、館内大会、西京ブロック交流大会などに挑戦する。	卓球の取組では、初めて卓球に挑戦する子どもたちがたくさん参加し良い機会になった。館内卓球大会では低学年・高学年どちらの部も真剣さが伝わってくるくらい熱い試合を繰り広げてくれた。西京ブロック交流卓球大会では、低学年の部、準優勝。高学年の部、第3位と優秀な結果を残した。卓球の取組期間中だけでなく、卓球に触れる機会をつくれるよう日々の遊びの設定を検討していく必要がある。
(2) 館内卓球大会（低学年の部）	1		1	10							11		
(2) 館内卓球大会（高学年の部）	1				3	3					6		
(2) 西京ブロック交流卓球大会	1		2	1	3						6		
(2) ドッジボール取り組み	7		6	66	24	46					142	川岡東児童館・桂東児童館の3館による交流ドッジボール大会に向けてドッジボールに取り組み練習を重ねた。	高学年を中心に日頃の外遊びからドッジボールの練習を頑張っている姿がみられる。途中揉めることもあったが、子どもたち同士で話し合いながら練習に取り組むことができた。大会の時期が夏場であったため、熱中症対策を講じながら実施した。次年度は、大会時期について開催館で相談し、子どもの安全面を考慮し夏場を避けるようにしていく。
(2) 西京ドッジボール大会	1		17	4	17	2		14			54		
(2) 将棋取組	11			112		4					116	本将棋のみ開催の館内将棋大会、ブロック交流将棋大会に向けて主に将棋クラブのメンバーに参加を募り、大会に向けて対局を繰り返し挑戦した。	今年度本将棋の他、はさみ将棋、王さま詰めの二競技が復活。日常的にはさみ将棋や王さま詰めにあそびの中で取り組んでおらず、参加人数が少なかった。1年生の参加もあり大会では負けて悔しい思いもした様子だったが、他館の児童と交流もし来年の大会参加への意欲を示した。
(2) 館内将棋大会	1		4	5	3						12		
(2) ブロック将棋大会	1		3	2	1						6		
(2) クリスマス実行委員会	5		6	2	14	1					23	小学生以上向けのクリスマス会を企画・開催するため実行委員を募り、会議を行い役割分担をして準備を進めた。	久しぶりの実行委員形式の企画となり、こういった形で取組をしたことがない参加者が集まる。普段関わりが薄い自由来館の高学年と学童クラブの低学年という組み合わせで交流ができ上手く協力しながら当日までの準備を進めていた。企画内容についても独創的な意見が多くあり、実現に向けて個々努力していた。
(3) ハッピークリスマス会	1	3	21	2	12			10			48	小学生以上向けのクリスマス会を開催。実行委員が主体となり、参加者全員で楽しめるようなイベントを行った。	広報不足を課題に感じたが、当日のプログラムとしては最適な人数だった。これまでにない内容もあり戸惑う様子の参加者も見られたが、実行委員がそれぞれ参加者を手助けし、場が盛り上がるように努めていた。参加者も実行委員側も非常に楽しんでいた印象があり、実行委員は達成感があった様子。今後の子ども企画取組等に繋げていきたい。
(3) 京の匠の技を知る～伝統工芸体験～漆塗り	1	1	20	5	10		3	1		2	42	Nao漆工房の方にお越しいただき、螺鈿細工についての紹介や素材、作品完成までの工程を説明をお聞きした。その後研ぎ出しという技法で簡単に螺鈿細工風のコースター作りを体験した。	身近にはない螺鈿風の貝の光彩を見て喜ぶ参加者が多く、やすりがけをする度に目に見えて光る様子が大人も子どもも楽しんでた。多くの参加があり、貴重な体験ができるため今後も機会があれば行っていきたい。

	(7) 中学生タイム	5					23					23	17時以降の中高生の居場所づくり。	学童0Bの中学生が放課後児童館にて卓球やボードゲーム、読書などをして過ごす。メンバーは固定化されているが、利用する中学生は気軽にあそびに来れる場所になっている。中学生の声を聞きながら、中学生主体の取組の実施につなげていきたい。	
	(3) 防犯教室	1			104		20					2	126	西京警察署のおまわりさんに来ていただき、防犯に関するお話と不審者対策について学ぶ。	全学年を対象に防犯教室を実施し、不審者の特徴やもしも声をかけられたときの対応など具体的に学ぶことができた。子どもたちの集中が持たず、しゃべりだす子どももいたが、防犯に関する動画を用いてお話を聞くときには集中していた。話がより理解できるよう、全学年ではなく対象をわけ実施することも検討していく。
	(3) 避難訓練	12	4	575	2	186						10	777	避難経路、避難方法を確認し、地震や火災の発生を想定した避難訓練を実施。消火器訓練の実施。	月に1回避難訓練を行い、緊急時の避難の方法を確認する。実際に地震が起こった時に落ち着いて避難行動をとることができ、定期的に行うことで危機意識は高まってきたと感じる。また、西京消防署立会いのもと緊張感ある訓練を実施することができた。どの職員も緊急時の指示ができるよう、職員が輪番制で訓練案を作成、実行していく。次年度については引き渡し訓練も含め実施していきたい。
	合 計		30	511	2319	173	577	26	82	2	0	66	3783	-	
推 進 活 動													0		
													0		
	合 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
成機能	合 計		30	511	2319	173	577	26	82	4	0	66	3788		

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和5(2023)年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市桂徳)児童館

	活動名	実施回数	参加人数								合計	内 容	成 果 と 課 題			
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア						
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生				大学生	大人	
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	(1) ②子育てほっと広場	98	211							195				406	遊戯室、図書室など自由に遊べる場を設ける。また来館されたお子さんの月齢にそって大型遊具などを準備。	利用者少ない傾向にあり、広報に力をいれていく必要がある。利用者アンケートにて、遊具開放の曜日がわかりにくいとのご意見あり、次年度については設定日の明確化を図っていく。
	(1) ②さくらんぼクラブ	17	130							117		1		248	0歳児の親子を対象にした登録制クラブ。お子さんの月齢に合わせた手あそびやふれあいあそび、工作などを隔週で行う。2週目の活動日にはお誕生日会を実施し、写真と足形のカードをお渡しする。	最初は緊張した様子がみられたが徐々に馴れていきお母さん同士で子育ての話しをしている様子がみられた。普段家では出来ない遊びがクラブに参加することでこどもがのびのびと遊べて過ごせてありがたいとお声をいただく。また、おたんじょうび会も毎月楽しみにして下さる。
	(1) ②いちごクラブ	21	109							109			16	234	1歳児の親子を対象にした登録制クラブ。季節の歌や手あそび、工作や感触あそびを設定し、親子でのふれあいを楽しんでもらう。月末の活動日にてお誕生日会を実施し、お写真を入れたカードをお渡しする。	はじめは皆さん緊張された様子だったが、回数を重ねていくうちに慣れていき、お母さん同士でもコミュニケーションをとっておられた。また、設定あそびでは家では少し難しい遊びを取り入れ楽しんでもらえたように思う。
	(1) ①りんごクラブ	33	201							163			33	397	2歳以上を対象とした登録制の幼児クラブ。季節の歌や手あそび、体操、設定あそびを提供し、親子で楽しんでもらう。よりダイナミックな工作や、西京警察署との交通安全教室を年3回実施。	登録人数は少なかったが、途中参加の方も含めて出席率が高かった。参加者同士の交流が多く、幼稚園や保育園の情報共有や、上にきょうだいのいる保護者への相談なども見られた。課題として、設定あそびやおたよりの準備不足、家では難しいような工作の実施が少なかったことが挙げられる。次年度より改善していく。
	(1) ②ヨガ教室	11	65							68			11	144	講師に来ていただき、本格的なヨガの指導をしていただく。小さいお子さん連れの方も参加可能としているが、自分の子どもは自身で見えていただきつつ、職員も補助で入るようにする。	ヨガ教室開始前の表情と終了後の表情を観察していると、みなさんスッキリした表情をされており、ヨガ教室が参加者にとって日々の疲れを癒すいい時間になっているのかなと感じる。
	(2) 大人ヨガ	11								77			11	88	講師に来ていただき、本格的なヨガの指導をしていただく。前年度に引き続き登録制の形をとって行う。	参加者みなさん落ち着いてリラックスしながらヨガをされている。始まる前には、世間話で参加者どうし盛り上がる様子が見られる。
	(1) ②ミュージックケアねんね	11	80							80			11	171	地域の森田さんに講師として来ていただき、楽器やバルーン、スカーフなどを使い、親子で音楽に合わせてふれあいを楽しむプログラムを行っていただく。	0歳児を主に対象として行う。月齢により運動機能が様々であるが楽しんでおられ保護者の方同士の交流の場になっていると感じる。
	(1) ②ミュージックケアよちよち	11	98							101			11	210		1歳児を対象として行う。お子さん自身もできることが増え親子と一緒に楽しんでおられる。しかし、好みははっきりしているため遊戯室内で違う遊びをしている姿もあった。
	(1) ②ミュージックケアわいわい	9	49							48			9	106		1歳以上を対象として行う。きょうだい児の参加も可能。セッション中、遊戯室内にあるおもちゃ、図書室のおもちゃで遊びたいお子さんがおられその都度図書室で遊べる事を伝える。また、昨年度同様、講師の森田さんからも無理に参加させようとせず、保護者の方が楽しんでいる姿が大事とお聞きしたため職員も無理強いしない声かけを心がける。

本 活	(1) ②お昼ごはんタイム	15	24					23			47	育成室にて持参していただいたご飯を食べる場の提供。	利用者は少ないが、利用される方はひろば終わりに後にゆっくりできると好評である。ひろばやクラブ後に声掛けしていくなど広報に工夫していく。		
	(1) ②ほっとカフェ	2	1					3			4	育成室にて持参していただいたカフェとお菓子の提供。	広報不足か利用者少ない。お昼ご飯タイムを利用されている方に声掛けするが、一組で利用されている方が多く、カフェを飲んでおしゃべりタイムにはならない様子。今後も広報に力を入れていく。		
	(1) ②民生委員主催なかよしっこ		76					69		46	191	民生委員さん主催の乳幼児ひろば。遊具の開放や、絵本の読み聞かせ、お土産渡しを行う。	異年齢のお子さんとお母さん同士でコミュニケーションをとったり、地域の方と一緒に楽しくお話されていた。また、手作りのお土産や読み聞かせを毎回楽しみに来館される親子も多数おられた。		
	(2) お父さんとあそび！	1	14	1				12		2	29	平日はなかなか来館できないお父さんと一緒に児童館で楽しむ機会として実施。今年度は、足型アートのお母さんにご協力いただき、絵の具あそびと足型アートを土曜日に開催する。	たくさん親子に参加いただき、足型アートと絵の具あそびを楽しむ。絵の具あそびは段ボールや模造紙に思い思いに描いてもらう。足型アートの宣伝にもつなげていった。母子参加がしにくいこともあり、「お父さんとあそび」という名称について今後検討していく必要あり。		
子 ど も 基 本	(1) ②乳幼児クリスマス会	1回	27					25		6	58	民生委員主催なかよしっこ合同でクリスマス会を開催した。	民生委員さんと合同のクリスマス会を行う。歌や手遊び、職員によるハンドベルを展開しプレゼントの配布も喜んでいただけた。民生委員さんには受付や、絵本の読み聞かせ・サンタさんを依頼し行っていた。		
	(1) ②はじめてのクリスマス会	1回	21					20			41	0歳児向けのクリスマス会を開催した。内容は寝相アート。	たくさん親子に参加いただき、申込はすぐに定員に達した。寝相アートはお母さん方も楽しみにしており、写真が記念に残ることを喜んでおられた。		
	(1) ②はじめてのクリスマス会	1回	19	10	3	1		17		13	63	京都ムジークフェラインさんにお越しいただき、乳幼児親子・小学生親子が楽しめるコンサートを実施する。	申込制ではなく自由参加型で実施するが、乳幼児～小学生など幅広い子どもたちに参加してもらうことができた。児童館で行うことで乳幼児親子も気軽に参加できると好評であった。次年度も年に数回コンサートを実施していきたい。		
	(1) ②足形アート	11	90					78		21	189	子育て中の母2名による、足形アート教室。毎月季節の足形アートを行う。	毎月お父さんがどれだけ成長したのかが目で見て分かる。今まで体重計乗って泣いていた子がいつの間にか泣かなくなったりと子育て中の講師の方々と一緒にお子さんの成長を喜ぶ。今年度の途中からマットを敷いておもちゃを出したことでお父さんもおもちゃで遊んでいる中、お母さんはのびのびと製作に取り組むことが出来た。参加人数が減少傾向にあるため、広報に力を入れていく必要がある。		
	合 計		1215	11	3	1	0	0	1205	0	1	190	2626		
家 庭 支 援 活 動	(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数
		乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生	6	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 }				6	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 } 学童クラブの利用 }			2 1 3	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }		
		件数 計	6	-				6	-			6	-		0
(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題					
	足形アート	2	子育て中のママによる自主的活動。 足形アートの取組の企画・準備・運営。				保護者同士が交流し合えるよう環境を整え、スムーズに取り組みが行えるよう調整する。			講師のママとのコミュニケーション不足により、取組の準備ができていないことも多くあったので、職員がしっかりと準備を把握しておく必要がある。事前の作成物が多くあり、講師は取組後準備にかかられるため、後輩ママである参加者と先輩ママである講師が交流する機会が少なくなってしまう。保護者同士が交流できるよう職員が調整していく必要がある。					

		大人ヨガ	17	子育てが一段落した母や、地域の方が所属するヨガのサークル。月に1回のリフレッシュタイム。	サークル日の調整や講師の方との連絡調整をする。	登録人数も徐々に増えていき、毎回ヨガ終了後には「リフレッシュできた」「気持ちよかった」などのお声をいただく。登録制であることから、講師の先生と参加者との距離も近く、いい雰囲気の中ヨガをされている様子である。
--	--	------	----	--	-------------------------	---

子ども 家庭 支援 活動	推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に 関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容	成 果 と 課 題
			交通安全教室	3	幼児クラブ「りんごクラブ」内で行う交通安全教室。西京警察の方に来ていただき、わが子を守るために学ぶものであることも伝え、行っていただく。	警察の方から京都市の交通事故の割合や実情を詳しく紹介していただくことで未就学児を守るために必要な行動を学ぶことができた。今年度、警察の方との連絡がうまくできておらず開催時間等に齟齬があったため、十分な確認が必要だった。
			トイレトレーニング	1	子育て包括アドバイザーの竹本久美子先生に来ていただき、トイレトレーニングの始め方やコツなどお話いただき、子育て相談会も行う。	トイレトレーニングの進め方や、子どものイヤイヤ期に悩むお母さん方が参加された。おむつの替え方の見直しや環境を整えていくことなど具体的に教えていただき、参加してよかったとのお声をいただく。竹本先生の講座はリピーターの方が多く、その時々のお悩みや子育て相談なども楽しみにされている様子。個別の子育て相談の時間が長くなり、終了が13時を回ってしまうことがあるので、開始時間を早めるなど検討する。
			なんでグズグズ言うの？	1	子育て包括アドバイザーの竹本久美子先生に来ていただき、イヤイヤ期の子どもへの対応についてお話いただき、子育て相談会も行う。	
			えほん館花田先生のお話会	1	えほん館の花田先生にお越しいただき、月齢に沿った絵本の選び方や読み聞かせの方法など具体的に教えていただく。	絵本を用いてどのように子どもと関わるのか、絵本はどういった選び方をしたら良いのかを教えていただく。あまり気負わずに好きな絵本を選んで良いことなど絵本を読み聞かせることに悩みすぎなくても良いと気持ちが軽くなりましたというお声もあり、継続して開催したい講座である。
			歯科衛生士さんのお話会	1	西京保健センターの歯科衛生士さんにお越しいただき、乳幼児期の歯磨きの仕方のお話や歯ブラシチェックなどについて教えていただく。	歯科衛生士の方に来ていただき、専門的な観点からお話を聞くことができ、保護者の方から勉強になりましたとお声をいただく。全体的なお話の後、個別に歯の状態をチェックしていただき、保護者の悩みをお聞きする時間をとっていただき、参加者にとって有意義な時間となった。
			ママのための防災講座	1	ミナソラノシタさんに来ていただき、乳幼児の子どもがいるご家庭対象にした、避難所での生活や災害の備えについてお話をさせていただく。	子育て中のママが講師として活躍している団体ミナソラノシタさんに来ていただき、ママの視点からの防災講座を行う。子育て家庭だからこそ必要な備えや避難所での注意点などを教えていただき、防災について考える機会になった。防災意識を高めていけるよう定期的の実施していきたい。
			チャイルドカット講座	1	そらいろプロジェクト京都の方に来ていただき、子どもの前髪の切り方のコツや声掛けのコツなどについてお話いただき、保護者の悩みや相談にお答えいただく。	子どもの前髪の切り方のコツを教わる中で、嫌がる子どもへの声掛けや子どもが楽しめる声掛けの工夫など、日々の子どもとのかかわりに生かせるお話を聞くことができた。前髪カットの実演もあり、保護者の方も喜んでおられた。
離乳食講座	1	乳児院積慶園の栄養士さんに来ていただき、離乳食の作り方やコツなどについてお話いただき、保護者の悩みや相談にお答えいただく。	すでに離乳食が始まっている方、まだ先の方も参加され具体的な月例別の離乳食の紹介、食べない等の悩みについて相談されていた。離乳食の見本も用意してくださり大変わかりやすくお話いただいた。参加人数の少なさが課題、広報を工夫していく。			

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。



地域	基 本 社 活 進 機 能	活動名	実施回数	主 催	参加人数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1) 地域住民との交流を促進する活動	桂徳まつり	1	自治連合会	21	47		10			50	128	自治連合会 足形アート講師	学区のおまつりに児童館コーナーとして、足形アートや魚釣り、高田さんのハンドメイドショップの出店と、学童クラブのステージ出演を行う。児童館のPRとともに、足形アートの講師ママたちの力を知っていただく機会となった。	
	なかよし広場	1	児童館	7						8	15	民生児童委員会 学区社会福祉協議会 長谷川乳児保育室 みつばち保育園	年2回開催予定だったが、1回目が雨天中止となり、年1回の開催となる。シャボン玉あそびを実施したが、参加者少なく内容の充実と広報に力を入れていく必要がある。	
	桂徳じどうかんまつり	1	児童館	60	90	7	35	3	0	103	298	民生児童委員会 学区社会福祉協議会 京都シャボン玉飛ばし隊	開館14周年を祝う児童館まつりを開催する。学童クラブの子どもたちによるけん玉ダンスの披露やシャボン玉遊びのステージとともに、遊びコーナーやだしがしやさん、写真部の作品展示を行った。次年度は15周年となるため、児童館の取組が集結するようなおまつりとなるよう盛り上げていきたい。	
	はじめましてお誕生会	2	桂徳子育て連絡会	6						6	12	民生児童委員会 みつばち保育園	参加された方はお子さんの育ちについて、みつばち保育園の先生に相談したり、参加した保護者同士で悩みについて話し合う姿が見られた。地域で生まれた赤ちゃんとのつながりを持てる場所なので、参加を呼びかけるとともに、内容についても見直しを図っていく。	
	合 計		—	94	137	7	45	3	0	167	453			
			活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題				
(2) ボランティア活動の推進	卓球クラブ												地域の才田さんに長くお越しいたいただき、指導を受けている。子どもの力量に合わせ球出しなどをしていたいただき、子どもたちの成長につながっている。力量の高い子どもたちからは難易度を上げた練習を希望する声もあがっている。子どもの力量に応じた取組方を今後検討していく必要がある。	
	将棋クラブ												日本将棋連盟京都府支部連合会より講師に来ていただき、詰将棋や技量に合わせた多面指しなど、取り組みの仕方も工夫してくださっている。参加児童も毎月先生方と対局をしたがったり、質問するなど意欲が見られた。将棋クラブの日程について講師と認識が異なることもあったため、前月に日程の確認を行う必要がある。	
	ミュージックケア										0		長年地域の森田さんにお越しいただいている。参加された保護者の様子、お子さんの様子など注意深く見てくださっており、気になるご家庭へのアプローチなど毎回工夫していただいている。音源をCDからSDに変更する、使用楽器の購入など講師の森田さんと相談しながら活動していく。	
	ヨガ教室										0		参加者と講師の距離も近く、和やかな雰囲気ですべていただいている。動き回る子どものフォローや講師の先生がスムーズに進められるよう、職員が環境を整える必要がある。急遽講師の先生がお休みになられた際に、参加者への連絡がスムーズにできなかったため、年度途中に配信メールの登録呼びかけを行う。	

		乳幼児クラブ内の絵本の読み聞かせ #はらっこ絵本時間				0	地域の原さんに絵本の読み聞かせを行っていただく。りんごクラブ等幼児クラブ内でお母さんにきいてもらいたいお話なども読んでいただく。はらっこ絵本時間では、子どもたちの好きなお話、リクエストなどを聞いていただきながら絵本を選んでくださり、子どもたちも楽しみにしている時間である。	
			合計	0	0	35	35	
		連携団体等	連携内容				成果と課題	
	(3) 地域との連携を促進する活動	桂徳小学校 桂徳自治連合会 民生児童委員会 学区社会福祉協議会 みつばち保育園 サクラインターナショナルスクール 長谷川乳児保育室	児童館おたよりの配布、小学校行事への参加、グラウンド・体育館の借用 児童館おたよりの地域回覧、学区のおまつりへの協力、学区体育祭への協力 児童館でのサロン、児童館おたよりの地域回覧、地域子育て支援ステーション事業、桂徳じどうかんまつりの協力 地域子育て支援ステーション事業 地域子育て支援ステーション事業、子育て支援 駐車場の借用 地域子育て支援ステーション事業				児童館の事業に協力していただくことで、児童館を知っていただくとともに地域で育つ子どもたちの様子を見ていただくことができた。また、地域の行事に協力することで、地域の関係機関との顔合わせの機会となり関係構築につながっている。今後、より地域の関係機関との連携を深め、地域の中にある児童館の役割を発揮していける機会を増やしていきたい。	

地	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題		
			桂徳子育て連絡会（地域子育て支援ステーション）		桂徳小学校 みつばち保育園 長谷川乳児保育室 学区民生児童委員会 学区社会福祉協議会 西京こどもはぐくみ室 西京区社会福祉協議会 桂中学校 放課後等デイサービスビーフレンズ		会議 4回		各機関の情報交換 地域子育て支援ステーション事業の計画、総括について		年4回の地域ステーション会議を開催し、各機関の近況の報告や、事業の相互協力をした。地域で子どもを育てるための情報共有を行う。コロナにより地域との連携事業の機会が減少してしまったため、より意識して実施していきたい。		
域	福祉促進	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）		成果と課題				
			2階 遊戯室		子育てサロン なかよしっこ (桂徳民生児童委員主催)		桂徳民生児童委員会 桂徳自治連合会		異年齢の子どもたちと保護者の方が地域の方と楽しくお話しながら関わる場として定着している。絵本の読み聞かせや季節に合わせた手作りのお土産を毎回楽しみに来館される親子も多い。申し込み不要のため気軽に来館していただいている。				
能	推進活動	(6) 地域調査活動	図書室の本の貸し出し		絵本・子育て本・児童読み物などの本の貸し出し業務		桂徳児童館		乳幼児親子や小学生など幅広い利用がある。乳幼児クラブや広場後に利用される方が多い。新しい本の入荷などのお知らせや、おすすめの本の紹介などを掲示し、利用者が楽しめる工夫も行った。子育て本や情報誌が少ないので、大人も読みたいと思う本を入荷していきたい。				
			調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法		成果と課題
		乳幼児保護者調査		利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応		児童館利用乳幼児保護者		桂徳児童館		アンケート		児童館や学童クラブについて利用者の方から率直な意見をお聞きすることが出来た。無記名での回答が可能なため気兼ねなくご意見を書いてくださる。また紙面でのアンケートということで、乳幼児保護者の方等は直接その場で書いてくださるため回答率が高い。いただいたアンケートの回答は集計後、ホームページに掲載し利用者に公開した。	
		学童クラブ保護者調査		利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応		学童クラブ保護者		桂徳児童館		アンケート		次年度以降もいただいたお声から改善点を解消するとともに取組の充実を図っていきたい。	
		学童クラブ児童調査		利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応		学童クラブ児童		桂徳児童館		アンケート			
		自由来館児童調査		利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応		自由来館児童		桂徳児童館		アンケート			
		地域調査		利用状況 満足度把握 設備環境 職員対応		児童館利用の地域の方		桂徳児童館		アンケート			

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広	児童館だより	毎月1回	0～18歳までの児童とその保護者 地域住民	桂徳小学校での全校配布 地域役員への配布 地域回覧 保健福祉センターでの配布 館内掲示・館外掲示板掲示 ホームページに掲載	次月の予定や、取り組みの説明 前月の取り組みの様子報告 館内ルール、児童館利用の方法	昨年度に引き続き、学区問わず配布、HPへの掲載を行う。 現在は特にHPをよく見ていただいている様子。また今年度はつどいのひろば いっぽさんでの児童館紹介に参加し、そちらでも配布させていただいた。小学生以上について取組への申し込みをする保護者はおたよりをよく読んでくださっている。子どもから申し込みがある場合はあまりチェックできていないため、参加費など別途声をかけていく必要がある。
	ホームページ	随時	インターネットを利用されている方	ホームページに情報を掲載	児童館の紹介や、取り組みの説明 取り組みの様子報告 児童館だよりの掲載 学童クラブ児童保護者への連絡	児童館のおたよりや、乳幼児向けの取組を掲載し、地域回覧などで見ることができない方や学区外の方にも児童館の取り組みをお知らせ出来ている。またスマートフォンでも閲覧できるので、気軽に見られることでアクセスしやすい。 トップページの掲載内容が多い、また古い情報が掲載されているため、随時整理が必要である。
報	ポスター・チラシ	各事業ごと	0～18歳までの児童とその保護者 地域住民	児童館内・掲示板への掲示 地域回覧 来館者への配布 地域商店への掲示	児童館事業及び、地域子育て支援ステーション 事業の実施のお知らせ 日時・場所・参加形態・申し込みの有無	昨年度の反省から、今年度は意識してチラシの作成・配布をすることができた。児童館の掲示板への貼り出しや来館者への配布など、館内での広報についてはしっかりとできていたが、地域商店などへの貼り出し協力など館外の広報が足りていない。次年度については館外での広報をより意識してすすめていきたい。
活	西京はぐくみだより	毎月1回	保健福祉センターを利用される乳幼児の保護者	西京はぐくみ室が発行されている西京はぐくみだよりに掲載していただく	次月の乳幼児親子を対象とした取り組みのお知らせ	西京保健センター管内の乳幼児向けの行事が1つにまとめられており、利用者は毎月細かくチェックしてくださっている。桂徳学区以外の方も多く見ておられ、取り組みへの申込みや、ほっと広場の利用に活用していただいている。
動	幼児クラブだより	毎月1回	登録制幼児クラブの保護者	幼児クラブでの配布	次月の予定や、様子の報告 季節のうた・手あそび	月々のりんごクラブの予定などを記載してお渡しする。今年度特に配布日に間に合っていないことが多く、写真などを消した状態でHPに掲載し参加者の方に読んでいただけるようにしていた。配布日にお渡しできるように気をつける。
	Instagramの情報発信	不定期	Instagramを利用されている方	SNSで写真を使つての情報発信	児童館の取り組みの様子紹介 児童館の日々の様子の紹介	不定期でSNSを使い、児童館や学童クラブでの取り組みの様子や日々の様子を写真を使つてお伝えしている。地域の方や他児童館との繋がる機会となった。また元学童クラブ児童の中高生も、児童館の様子をチェックしてくれている。児童館のリアルタイムな情報をお伝えする場として機能している。フォロワー数を増やしていくとともに、取組の報告だけでなく宣伝やPRに活用できるよう、定期的な配信を心掛ける。

令和5（2023）年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（ 京都市桂徳 ） 児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	出欠・帰宅確認 帰宅指導 手洗い・消毒 冬期帰宅時間の設定・調整 防犯訓練・教室	保護者による出欠登録を確認し児童が帰館しているかを確認する。出席予定だが帰館していない児童には、小学校に居残りをしているかを電話で確認する。居残りをしておらず、小学校内にいない場合、保護者に電話を入れ所在確認を行った。出欠登録のない児童の保護者には、登録いただくよう周知徹底を図っていきたい。 帰宅指導では、4月に各グループごとで児童館から帰宅する際の道順を確かめ、実際に歩き児童自ら確認を行った。 手洗い・消毒の声掛けを行うとともに、児童の使用した机やおもちゃ等の消毒を行い、衛生の確保に努めた。 冬季は日没が早いいため集団下校の時間を早め、児童が安全に帰宅できるようにする。冬季帰宅時間の変更については、入会説明会時・保護者懇談会時に保護者へ周知する。 冬季前には防犯訓練・教室を行い、西京警察署の方による不審者侵入時の避難訓練と防犯に関するお話をしていただき、子どもたちが自らの身を守る方法について学ぶことができた。
	健康の管理・情緒の安定	体調管理の指導 おやつ提供	帰館時の出欠確認とともに子どもの様子に変化はないか確認を行う。室内外での上着の着脱など日常生活の中で考慮すべき点を伝え、自己判断で体調管理ができるように声をかける。特に、夏場は熱中症警戒情報を確認し、館外での活動を見合わせ、館内で過ごすなどの対応を行う。体調に変化があった際には、保護者に連絡を入れ子どもの様子を共有する。 おやつは袋菓子を中心に、季節のおやつや果物、子どものリクエストのおやつを提供する。食物アレルギーを持つ児童に関しては、職員が把握できるように一覧で掲示し、代替のおやつで対応をする。今後も食物アレルギーが含まれるおやつでないか複数人で確認するように徹底していききたい。
	基本的生活習慣の確立	挨拶、片付けの指導 手洗い・うがい・消毒の徹底 清掃活動	職員が自ら子どもたちの見本となるよう挨拶に努め、物の貸出などの際にもしっかりとと言えるように促すことができた。おもちゃや本などの片付け方が乱雑のことがあったが、その都度片付けの指導を行い、自分が使ったものは自分で片付けをする習慣をつけられるよう、声かけを行った。度々ボールの片付けができていないこともあったが、子どもたちと使用するルールを考え、しっかりと片付けができるようになった。また、子ども同士で片付けの声をかけあう姿も見られた。 帰宅時、外遊び後、昼食前、おやつ前などは手洗い・消毒を行い感染症対策をする。手洗いの際に、石鹸をつけていない児童にはその都度声かけを行った。 17時以降のお迎え待ちの時間帯に、子どもたちから掃除をしたいとの声が上がリ、館内の掃き掃除や拭き掃除などを当番制で行う。
	社会生活技術の獲得	帰りの会 児童館事業への参画 思い出遠足 避難訓練	帰りの会はクラス別に行い、少人数でしっかりと話ができる環境を整えたが、職員体制が整わない時はクラス合同で行うこともあり、大人数のため子どもたちが落ち着かない状況があった。できる限りクラス別に行い、落ち着く環境をつくるように心掛ける。3年生の日直活動は、帰りの会の進行や遊びを行い、子どもたちの楽しみの一つにもなっている。 思い出遠足は貸切バスで、東映太秦映画村へ引率する。乗車時や自由行動時には、公共のルールを伝え、日頃から気を付けられるよう声かけを行った。 避難訓練は月1回行い、火災・地震・不審者・洪水などさまざまな状況での訓練を行うことで、子どもたちにも避難方法の周知を図ることができた。職員主導だけでなく、消防署や警察署の方に来ていただくことにより、専門家による話を聞くことができ学びにつながった。今年度は引き渡し訓練ができなかったため、次年度しっかりと計画し保護者とともに取り組んでいきたい。
子ども育成機能	生活体験の拡大	新入生歓迎会、お誕生日会 修了式・お楽しみ会 思い出遠足	新入生歓迎会は受付・司会を6年生、メダル渡しを4・5年生、迎える言葉を3年生が務め、会を盛り上げてくれた。準備期間が新年度に入ってからとなり、事前の打合せ時間があまり設けられなかったため、次年度については前年度の内から企画を子どもたちと検討していきたい。また年々学童クラブが増加傾向となっている中、全員参加の新入生歓迎会の実施が難しい状況にあるため、検討していく。 お誕生日会はケーキなどの特別なおやつを用意し、帰りの会でお誕生月の子どものお祝いを行った。お誕生日カードやプレゼントを渡す簡易なお誕生日会となってしまっているため、盛り上げ方は再度検討していく必要がある。 昨年度は、高学年の子どもたちに修了式・お楽しみ会やお誕生日会などの企画・運営をしてもらっていたが、今年度会議の開催ができず、職員主導による取組が多くなった。それにより高学年の役割がなく、所属感や達成感を味わう機会も減少してしまった。次年度は高学年の子どもたちが力を発揮できる機会を設けていきたい。 東映太秦映画村への遠足は思い出作りの一環として、普段の学童生活では味わえない体験ができた。自由行動時は事前にどのような順路で遊ぶかグループで話し合い、楽しみの一つになっていた。
	社会性の養成	お当番活動、帰りの会 帰宅指導	3年生が学童クラブのリーダーとして、帰りの会の司会進行などの日直を行った。日直が回ってくるのを心待ちにしている子も多かった。帰りの会以外にも3年生が活躍できる機会を今後検討していきたい。 帰宅指導では、走って帰るなど問題があるたびに全体に話をし、考える機会をもつことができた。低学年の子を間に入れるなど、各グループで低学年を思いやる姿が見られた。
	自立の促進と自主性の尊重	ステージ発表の出演 学年会議 高学年会議 新入生歓迎会、お誕生日会	児童館まつりや桂徳まつり、西京こどもまつりでは、けん玉ダンスやチアダンスを披露し、地域の方や保護者に取組を知っていただく機会となった。また、高学年児童が低学年児童に振り付けを教え、一緒に取り組むよう職員が関わった。 学年会議では、各学年の目標や企画会議を行い実施し学年の団結力をつけることができた。しかし、高学年については、職員が事前準備がしっかりとできておらず取り組めないことが多く子どもたちの楽しみを無くしてしまった。次年度はしっかりと準備をし子どもたちが楽しく学童生活を送れるようにすることが課題である。

子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	学童クラブだより・ブログ 保護者懇談会・個人懇談 申請説明会 入会説明会	学童クラブだより・紙ブログを毎月発行し、毎月の予定や学童クラブでの生活の様子を写真つきで保護者の方に伝える。紙ブログは取組報告が中心になっているため、次年度はより身近な出来事や子どもたちの様子も伝えられるように掲載内容を検討していく。保護者懇談会は年3回実施。スライド写真を用い、保護者の方に見ていただくことで子どもたちの日々の様子を伝える場となった。保護者の参加が少ないため、たくさんの保護者に来ていただけるようアンケートをもとにした実施曜日・時間の検討と、広報に力を入れていく。次年度の申請説明会は、次年度学童クラブ入会予定の保護者に来館いただき、学童クラブの概要やネット申請の方法について説明した。入会説明会は、全入会決定者を対象に実施し、今年度の学童クラブの生活の流れや決まりごと、入退出管理アプリの使用方法について説明した。
	子育ての仲間づくり	保護者懇談会 親子交流会 西京こどもまつり・児童館まつり等での保護者要員	2回目の保護者懇談会前には親子交流会を実施し、ドッジボールで子ども同士、親同士、親と子ども同士が楽しく交流する機会となった。3回目には保護者交流の機会として、サイコロトークを行い、日々の保護者の困りごとや聞いてみたいことなどを話し合う時間になった。今後も保護者同士、親子の交流の機会を設けていきたい。西京こどもまつりや児童館まつりでは、子どもだけでなく保護者要員の要請を行い、協力いただいた。要員作業を通して、保護者同士、保護者と職員の交流の機会となった。
	子育てを支えるネットワークの形成	桂徳小学校との連携 西総合支援学校との連携	小学校担任の先生との懇談会については、小学校での様子・児童館での様子を情報共有し、一人ひとりの子どもの課題について話し合うことができた。また、京都市児童館学童連盟の統合育成担当職員とともに西総合支援学校へ出向き、子どもの様子について情報共有を行うことができた。日々の関わりを大切に今後も連携を図っていきたい。

令和5（2023）年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

（京都市桂徳）児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1) 帰宅指導	2回	13	12	11	5	1	2							44	春休み期間を利用し、帰宅グループごとに帰り道の確認、危険個所や道路の歩き方を職員が子どもたちに指導・確認などを行う。
(2) 新入生歓迎会	1回	36	29	29	26	5	3							128	4月に新たに学童クラブに入会する子ども達の歓迎会を行う。高学年児童が当日の受付・メダル渡し・司会を行い、3年生児童が迎えの言葉を行う。
(2) 1年生オリエンテーション	1回	35												35	1年生を対象に、オリエンテーションとして児童館の説明やおそびのルールの確認などを行う。最後に〇×クイズを行い、理解をしているか確認を行う。
(2) 1年生会議	2回	36												36	2人1組での机の出し方を学ぶ。（学童机の片付けの指導）
(2) 2年生会議	8回		278											278	2年生企画や3年生になるに当たっての話し合いを行う。
(2) 2年生企画夏まつり	1回	34	32	27	18	4	3							118	2年生が企画・運営し、長期休業中に夏まつりを開催する。スーパーボールすくいや水鉄砲まとあてなどを楽しむ。
(2) 3年生会議	7回			181										181	年間の学年目標・個人目標を決定。学童クラブのリーダーとしての役割を確認する。
(2) 3年生企画だしがしやさん	1回	36	33	29	14	2	3							117	3年生が会議を重ね、各コーナー・受付の担当に分かれてだしがしやさんを展開する。
(2) 高学年会議	3回				59	9	7							75	新入生歓迎会や児童館まつりのあそびコーナー企画・運営を行う。
(2) ステージ練習	30回	187	253	41	37	17	31	2						568	西京こどもまつり、桂徳まつり、児童館まつりなどのステージ発表に向けて練習を行う。
(2) サッカー交流大会	1回		1	13				33					6	53	桂徳児童館・嵯峨野児童館・川岡東児童館の3館でサッカー大会を開催し、3館での交流を深める。
(2) モルック交流会	1回	7	7		4	2	2							22	崇仁児童館児童と高学年児童との交流を深め、梅小路公園にてモルックを行う。
(2) お誕生日会	12回	430	380	356	219	20	29							1434	毎月1回、おめでとうの気持ちを込めて、お誕生日会を行う。おやつはシャトレーゼのケーキ・和菓子の詰め合わせなどを提供しお祝いをする。飾り付けなどもし、子どもたちが楽しめるように工夫する。
(2) 西京こどもまつり引率	1回	8	7	1	3	1		13	4				5	42	西京こどもまつりに参加し、あそびコーナーや工作コーナーなどを楽しむ。ステージの出演も行う。
(3) 親子交流会	1回	2	2	1				40	10				65	120	2回目の保護者懇談会前に親子の交流会として実施する。普段の家庭とは違う子どもの姿を見る機会を設け、親同士の交流も図る。
(3) 保護者懇談会	3回	1	1	1				43	11				175	232	保護者の方々に子ども達の学童クラブでの様子や長期休みの過ごし方・今後の予定などをお伝えする。児童館側からの要望や保護者へ伝えなくてはいけない事項を伝える。
(2) 思い出集作り	7回	66	57	54	35	3	4							219	1年間過ごしてきた学童クラブを振り返り、思い出集づくりを行う。各個人ページの記入をする。
(2) 修了式お楽しみ会	1回	28	31	28	14		1							102	1年間の締めくくりとして式典を行う。思い出集・記念品渡しや職員によるお楽しみ会の開催。
(2) 思い出遠足	1回	39	35	33	20	3	2							132	1年間過ごしてきた学童クラブの仲間で、思い出づくりの遠足を行う。今年度は、東映太秦映画村に行く。
(2) 6年生送別会	1回	33	31	25	13		2		1				6	111	6年間過ごしてきた子どもの送別会をする。学童OBも参加し、卒業のお祝いをする。
(3) お弁当いらないDAY	2回	43	38	34	32	5	3							155	長期休みの中保護者の昼食準備の負担を軽減するため、学童クラブで昼食を用意する。今年度はパンくまやほっかほか亭のお弁当を注文する。
(3) 申請説明会	1回												40	40	次年度学童クラブ入会予定児童の保護者を対象に申請手続きについての説明会を開催する。
(3) 入会説明会	1回												122	122	次年度学童クラブの入会児童の保護者を対象に学童クラブでの生活・ルールなどを説明する。

\*注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること  
 \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること